

ジェロントロジー

安心して老いを迎えられる超高齢社会をめざして

Gerontology Japan-Sweden Conference on 'Challenges and Opportunities in Aging Society'

「ジェロントロジー」とは高齢化と長寿に取り組む学際的な学問です。

世界に先駆け高齢社会に対応してきた福祉先進国スウェーデンと、

現在世界最長寿国である日本の有識者が集結し、両国が協力して取り組むべき問題は何か、

超高齢社会の現状と課題、未来について討論します。

日時:2009年10月7日(水) 13:00~

※日英同時通訳あり

会場:東京大学 本郷キャンパス 安田講堂

※駐車場はございませんので、ご来場には公共交通機関をご利用ください。

参加費:無料

プログラム

- 13:00 **開会挨拶** 司会 板垣哲也(朝日新聞論説委員)
濱田純一(東京大学総長)
アンデシュ・ハルベル(ウプサラ大学総長)
ステファン・ノレーン(在日スウェーデン大使)
- 基調講演** 小宮山宏(三菱総合研究所理事長/東京大学前総長)
『プラチナタウン構想:有限の地球と人口高齢化への挑戦』
ペイエ・エミルソン(クレアブ最高経営責任者)
『超高齢社会の課題と可能性:産業界の視点』
- 14:45 **休憩**
- 15:00~17:00 **パネル・ディスカッション**
- 1.超高齢社会の挑戦:転換期を迎えるスウェーデンと日本**
ラーシュ・マグヌソン(ウプサラ大学教授)
グニラ・マルンポリ(社会保険省)
京極高宣(国立社会保障・人口問題研究所長)
 - 2.医療と福祉のゆくえ:スウェーデンと日本が目指す安心のかたち**
ペール=グンナル・エデバルグ(ルンド大学教授)
辻哲夫(東京大学高齢社会総合研究機構教授)
 - 3.未来をデザインする:超高齢社会に輝く産業**
インガ・マルムクヴィスト(チャルマース工科大学ヨテボリ准教授)
秋山昌範(東京大学政策ビジョン研究センター教授)

企業、大学他研究機関による展示会

日時:2009年10月7日(水) 10:00~18:00

企業や大学などの研究機関が、一般の方および研究者向けに最先端の研究、技術を紹介します。公開シンポジウムと並行して開催しますのでお気軽に会場に足をお運びください。

会場:東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館 フォーラム

参加費:無料

分野別ワークショップ

日時:2009年10月8日(木) 9:00~17:00

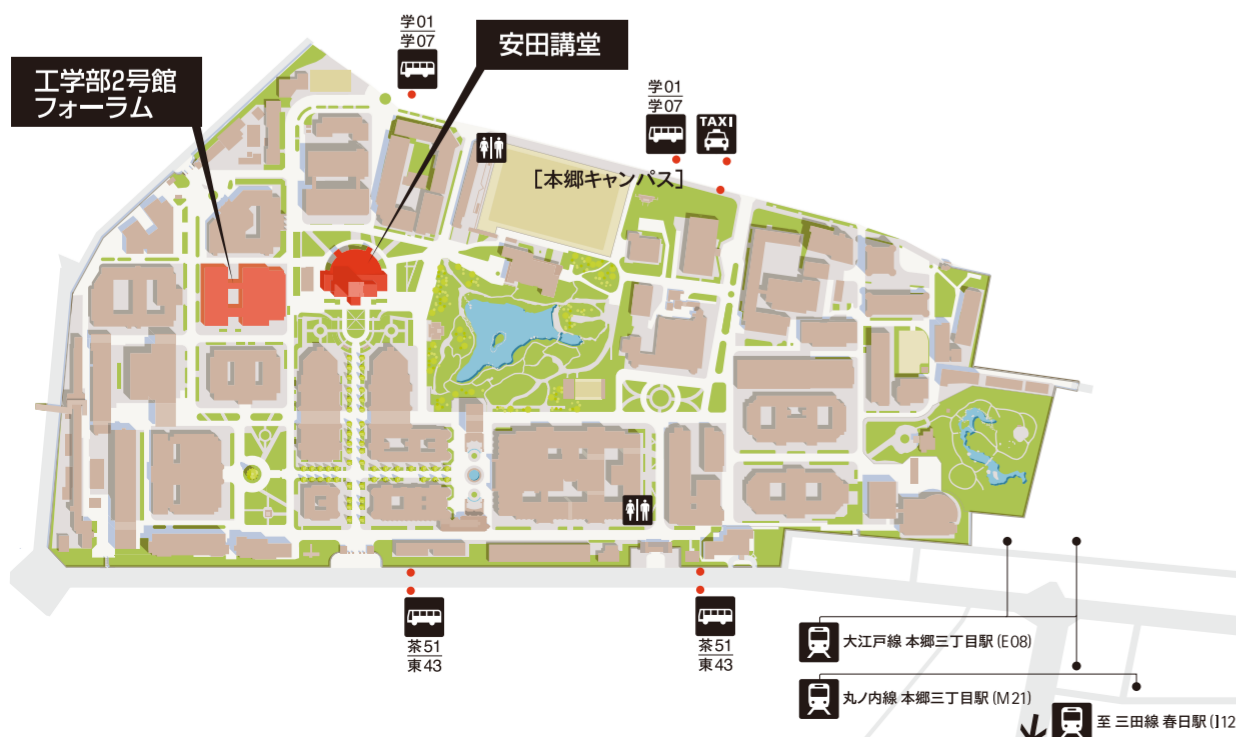
政策・医療福祉サービス、医学臨床研究と教育、科学技術の3つのテーマに分かれて、少人数での研究発表とディスカッションを行います。

使用言語:発表およびディスカッションは英語で行われます

問合せ先:ワークショップに関しては下記までお問い合わせください。

東京大学高齢社会総合研究機構

TEL:03-5841-1662 E-mail:jimu@iog.u-tokyo.ac.jp



主催:東京大学 後援:朝日新聞社 特別協賛:日本生命保険相互会社
お問い合わせ先:東京大学国際系国際企画グループ 日本・スウェーデンシンポジウム担当
TEL:03-5841-1063 E-mail:ut-sympo@adm.u-tokyo.ac.jp

For English page, please access the following:
http://dir.u-tokyo.ac.jp/topics/20091007/index_en.html